

大型公共施設更新に向けた 財政指針を策定

財政課・☎2106

本市の多くの公共施設は、老朽化に伴い建て替えや大規模修繕が必要な状況です。特に消防本部庁舎、斎場、南部クリーンセンター、市民会館の4大施設の更新が控えており、かつてない規模の建設費用が見込まれます。

このたび、それらを建て替えた場合の中期的な財政収支を試算し、今後も健全な財政運営を行うため、どのような取り組みをすべきかの指針をまとめました。

POINT

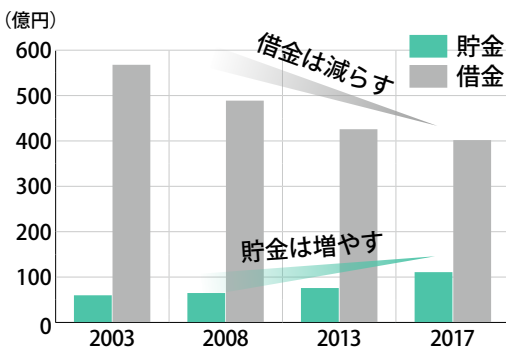
この指針は、本市が現在、緊急的な財政状況にあって緊縮財政を強行的に進めようとするものではなく、前もって身の丈に合わせた取り組みを始めることによって、健全な財政運営と希望のあるまちづくりを進めようとするものです。この財政指針を一言で表すと…

『**足利の未来に向けた
万全な備えのための指針**』
です。



Chapter 01 今の本市の状況を知る

貯金と借金残高



返す以上に借らない方針で、借金(市債)を減らし、公共施設の更新に備え、貯金(基金)を増やしてきました。現在は健全な財政状況です。

人口と公共施設

しかし、本市の人口は、毎年1,000人減少していくと推計されています。総人口に占める高齢者の割合も高まり、社会保障費用への支出増加が見込まれます。

また、建築物系公共施設のうち、約7割が築30年以上経過しており、多くの施設が更新時期を迎えています。

Chapter 02 4大施設の費用を知る

4大施設の総事業費 約350億円

財源内訳：借金 230億円 国庫補助 55億円 自己資金 65億円

※あくまで最短で更新する場合の推計値で、実際の事業費やスケジュールとは異なります。



消防本部

(1969年建築)
工事開始予定2019年

約20億円



斎場

(1976年建築)
工事開始推定2021年

約30億円



南部クリーンセンター

(1983年建築)
工事開始推定2022年

約200億円



市民会館

(1966年建築)
工事開始推定2022年

約100億円

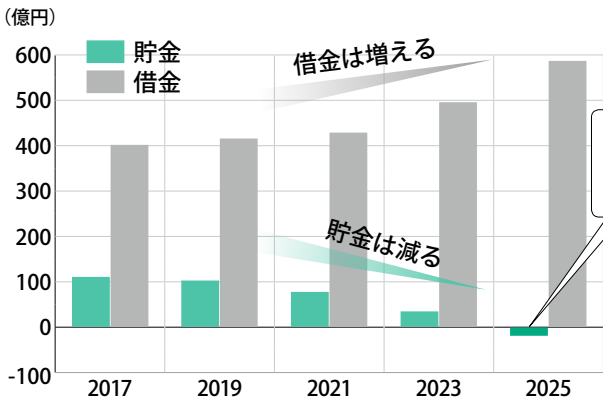
POINT

建設需要の高まりなどにより、ここ数年で建築工事費は大きく上昇しています。4大施設の更新費用は350億円という莫大な金額(市の通常の予算規模は、年間500億円前後)となり、その多くを借金で賄うこととなります。



Chapter 03 中期的な財政収支を予測する

■ 貯金と借金残高の中期的推移



POINT

4 大施設を最短期間で建て替えた場合の収支を試算すると、借金を減らして、貯金を増やしてきたにもかかわらず、2025年度には貯金が枯渇します。『持続可能な財政運営』に向けて、さまざまな取り組みを行う必要があります。



Chapter 04 今後どうすべきか考える

■ 基本方針

人口減少による市税の減少、社会保障費用の増加に加え、4大施設の更新に伴い、財政運営はたいへん厳しい状況になることが想定されます。

これを未然に防ぐため、歳入の確保と歳出の縮減に一層努め、その一方で未来へのタネ(投資)をまき続けていくことも重要です。

まずは

徹底した行政改革の推進

- 事務事業の見直し
- PPP(公民連携)の推進
- 扶助費の見直し
- 職員定員管理計画の策定
...など

さらに

公共施設および
インフラ施設の経費削減

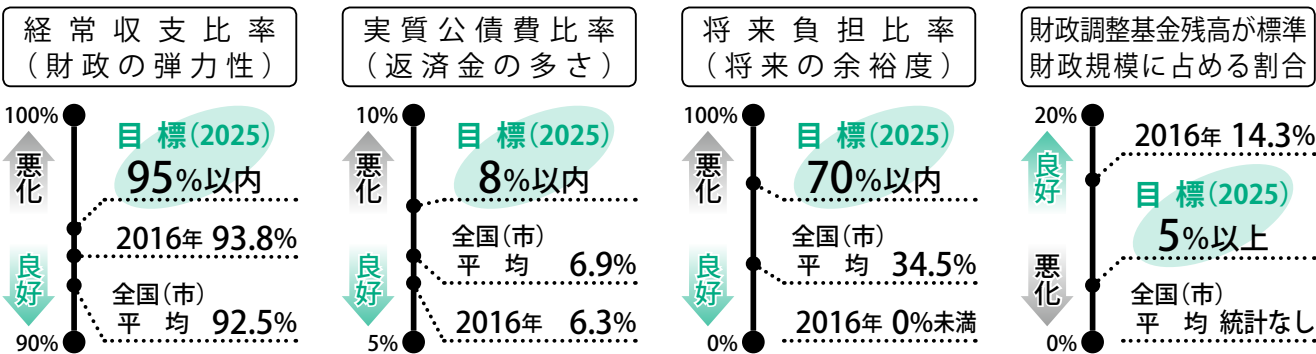
- 4大施設の整備スケジュールの見直し
- 施設の統合・縮小・廃止
- 民間施設への機能代替...など

そして

未来への投資の推進

- 移住・定住の促進
- 子育て支援、学ぶ力の育成
- 産業力の強化
- 施設の統廃合に伴う機能充実
...など

■ 財政指標の数値目標



POINT

財政指標の目標値は、いずれも現状より悪化しますが、その悪化を最小限度にとどめなければなりません。この目標を達成するためには、市民と行政、また市民同士がともに助け合いながら知恵を絞っていく必要があります。今後も、広報紙、市ホームページ、市政懇談会、公民館講座など、さまざまな機会を活用して、お知らせしていきますので、足利市の未来のためにともに考えていきましょう。



Pick Up! お知らせ 税 福祉 募集 子育て 健康 働く 講座教室 イベント 施設 相談